

Public Voices 声のらん

皆さんの「声」にお答えします。

《声のらん》では、「市長への手紙・ポスト」などに寄せられた声とその答えの中から、市民の皆さんの参考になる問答をご紹介します。(内容確認のため、連絡先と名前をご記入ください。)
【〒066-8686 / 東雲町2丁目34 / 千歳市企画部広報広聴課宛】

配慮を必要としています。



右のストラップは、「ヘルプマーク」といいます。義足や人工関節を使用している方、内部障がいや難病の方、または妊娠初期の方など、外見からわからなくても、援助や配慮を必要としている方が身につけることで、周囲の方に配慮を必要としていることをお知らせするためのマークです。

お答えします

障がい者支援課 自立支援係
☎(24)0327 FAX(22)8051

声 最近、市内外で《白い十字とハートマークが表示された、赤いストラップは何ですか？》を身につけている方を見かけますが、あのストラップは何ですか？

答 外見からわからなくても、援助や配慮を必要としている方が、周囲の方に配慮を必要としていることをお知らせする「ヘルプマーク」です。

白い十字とハートマークが表示された、赤いストラップは何ですか？
〔50歳代／女性〕

クです。

市は、平成29年11月から、希望する市民の皆さんに、ヘルプマークを配布しています。このマークを身につけている方を見かけたら、次のような配慮をお願いします。

- ◎電車やバスの中で見かけたら、席をお譲りください。
- ◎駅や商業施設などで、困っているところを見かけたら、声をかけるなどの配慮をお願いします。
- ◎災害時は、安全に避難するための支援をお願いします。

また、マークを希望する方は、障がい者支援課で配布していますので、お気軽にお問い合わせください。

【対象】 援助や配慮を必要としている方

※障がいの種別・等級・病名などによる条件はありません。

※ヘルプマークを受け取る際には、申込書に氏名や年齢、配慮を必要とする理由などを記入していただきます。

【配布場所】 市役所1階8番障がい者支援課



新市史下巻発刊に向けて

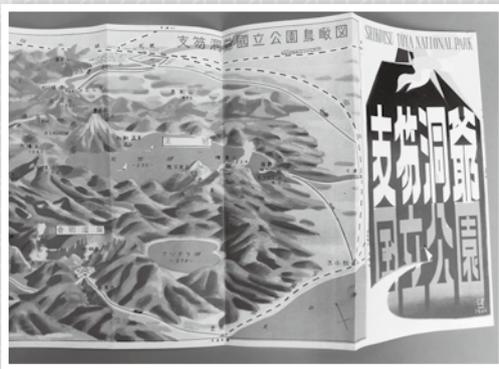
シリーズ第2回 (全12回)

GHQが指定を勧告した

支笏洞爺国立公園

筆者・田村俊之

市史編さん担当
☎(24)0523 FAX(42)3134



写真は昭和24年7月26日に行われた支笏洞爺国立公園指定記念式典の折に作成し、配布された公園案内リーフレットです。鳥瞰図とその裏面に概要が記されています。国立公園に指定されたのは、24年5月16日でした。この指定には、日本に進駐していた連合国軍の最高司令官総司令部(GHQ)の強力な後押しがあったことをご存じでしょうか。

23年、GHQは日本の国立公園と候補地の状況

調査のため、アメリカ内務省国立公園局のチャールズ・A・リッチーを招きました。リッチーは、5月から7月にかけて全国を調査(支笏湖は6月13日)し、報告書を12月18日にGHQへ提出しました。翌24年1月11日、GHQは「リッチー覚書」と呼ばれるこの報告書を厚生省に伝達しました。

リッチーは報告書の中で、支笏湖や洞爺湖、昭和新山、羊蹄山などからなる国立公園候補地を《日本の国立公園候補地の中でおそらくもっとも重要なもの》で《国際的にも相当の価値を有する》と高く評価し、《次の国立公園に指定すること》と勧告しました。

4か月後、地元の各自治体や関係団体の熱心な活動も功を奏し、戦前から数えて14番目、戦後2番目の国立公園が誕生したのです。

前回(シリーズ第1回)の下段右から2行目の《ミッチェル》は《リベレーター》の誤りでした。おわびして訂正します。